

各教科シラバス 2学年

☆シラバス (Syllabus) について☆

1 「シラバス (Syllabus)」とは

シラバスという言葉は、ギリシャ語のSittuba (羊皮紙でできた書籍ラベル) からきています。シラバスには1年間 (もしくは3年間) の授業の内容、学習方法、成績評価の方針等が記載されています。

2 「シラバス (Syllabus)」の目的

1年間 (もしくは3年間) の授業の流れを見通せるよう、次のような目的で作成しました。よく読んで、毎日の学習に役立ててほしいと思います。

- ①必要な情報を提供することで、計画的な学習を支援します。
- ②学習内容を事前に知らせることで、積極的な授業参加を促します。
- ③自ら学習計画を立てやすくします。

3 保護者の皆様へ

シラバスを作成することにより生徒の皆さんはもとより、保護者の皆様にも本校の各教科の学習内容、学習 (授業) の進め方、評価といったことについて御理解いただき、毎日の学習を進めるための指針にしてほしいと考えています。

特に保護者の皆様には以下の点を御理解いただきたいと思います。

- ①生徒の皆さんと保護者の皆様、学校の三者が学習内容を把握すること
 - ②授業やその評価に関する情報を共有すること
- ぜひ、御覧いただいて、役立ててほしいと思います。

4 その他

学校行事等、諸事情により年間計画を変更して授業を進める場合があります。その際は生徒に連絡をしますので、御了承ください。

第2学年 教科【国語】

○学習目標 「豊かな言語感覚を身に付ける」
「話す・聞く」「書く」「読む」「ことば」国語の基礎・基本を身に付ける。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [学校] ・自ら学ぶ意欲を持ち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。
・板書事項をノートに丁寧に写すだけでなく、質問・課題に対する自分の考え・意見をまとめる。
- [家庭] ・すらすらと読めるまで、教科書の音読に繰り返し取り組む。(国語の力の土台になります)
・宿題にきちんと取り組む。漢字の練習や語句の意味調べなども積極的に行う。
・日ごろからさまざまな種類の本を読み、読解力を付ける。
・定期考査前に、教科書やノートなどを見直し、ワークやプリントの問題に何回も取り組む。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	・見えないだけ	・言葉の豊かさを感じながら作者の思いを捉える。
	・アイスプラネット	・人物の言動や心情表現に着目し、思いを読み取る。
5	・枕草子	・四季に対する作者のものの見方を捉える。
	・多様な方法で情報を集めよう	・情報を集めて分類・整理し、職業ガイドを作る。
	・クマゼミ増加の原因を探る	・全体と部分、文章と図表の関係に注意して構成や内容を捉える。
6	・具体と抽象	・教材文を読み、具体と抽象の概念を理解する。
	・魅力的な提案をしよう	・分かりやすく効果的な説明のしかたを考え、プレゼンテーションする。
	・単語をどう分ける？	・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解する。
7	・モアイは語る	・事実や根拠を確かめながら、筆者の主張を捉える。
	・根拠の吟味	・教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。
	・意見文を書く	・意見と根拠、反論に対する意見の構成を工夫して意見文を書く。
89	・メディアの特徴を生かして情報を集めよう	・メディアの特徴を知り、情報の受け取る際の留意点を考える。
	・短歌に親しむ、短歌を味わう	・歌われている情景や作者の思いを読み味わう。
	・言葉の力	・文章を要約して、言葉と人間についての筆者の考えを捉える。
	・類義語・対義語・多義語	・類義語・対義語・多義語について理解する。
10	・もっと「伝わる」表現をみざして	・言葉を分類して、類義語を集め、比較し、文を作る。
	・盆土産	・人物描写に着目して、心情を捉える。
	・字のない葉書	・描写の違いに着目して人物の心情を捉える。
	・聞き上手になろう	・「話し手」、「聞き手」、「聴衆」の役割を交代して、インタビューを行う。
10	・表現を工夫して書こう	・相手や目的に応じて、言葉遣いや通信手段を選んで書く。
	・表現の効果を考える、敬語	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う
	・立場を尊重して話し合おう	・討論のテーマを決め、多角的に検討する
	・音読を楽しもう 月夜の浜辺	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
11	・源氏と平家	・「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。
	・扇の的-「平家物語」から	・古文のリズムを味わい、人物の心情や状況を捉える。
	・仁和寺にある法師 -「徒然草」から	・場面の状況を読み取り、作者のものの見方を捉える。
12	・漢詩の風景	・歌われている情景から、作者の思いを捉える。
	・君は「最後の晩餐」を知っているか	・キーワードや表現の工夫に注意して、筆者のものの見方を捉える。
	・魅力を効果的に伝えよう	・作品の魅力が伝わるように、言葉や表現を工夫し鑑賞文を書く。
1	・書きぞめ練習	・行書の特徴を捉え、字形を整えて書く。
	・走る。走らない。走ろうよ。	・用言の種類や働き、活用について理解する。
	・走れメロス	・描写や会話に注意して、人物像の変化を捉える。
2	・一字違いで大違い	・助詞の違いに気付き、付属語の働きについて考える。
	・構成や展開を工夫して書こう	・視点を変えて「ある日の自分」の物語を書く。
	・話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。
3	・送り仮名	・送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。
	・国語の学びを振り返ろう	・1年間の学習を振り返り、国語を学ぶ意義を見いだす。

《評価の観点》・言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化について、その特質を理解し適切に使っている。
・話すこと・聞くこと、書くこと、読むことについて、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

《評価の方法》・授業中の学習活動、定期考査、小テスト、提出課題の内容

第2学年 教科【社会】

○学習目標

- ・地理的事象に関心を持ち、日本の各地方の地域的特色を踏まえながら、そこで暮らす人々の生活や産業と、その変化について理解・考察・判断できるようにする。
- ・歴史的事象に関心を持ち、時代の特色を踏まえながら、世界の歴史を背景に我が国の歴史の大きな流れを理解・考察・判断できるようにする。
- ・社会的事象を多面的・多角的に考察するための調べ方や学び方の基本を身に付け、未来社会の形成者としての資質の向上をはかる。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [授業前日] … 小学校時に学習した内容を振り返ろう。
出題予定の小テストや復習テストの学習をしよう。
- [授業] … プリントを使い、板書を写そう。また、メモを取るようになろう。
積極的に発言をしよう。疑問点はその日のうちに解決すること。
- [授業当日] … 授業を振り返り、单元ごとに行われる『小テスト』にそなえよう。
- [週末] … ワーク(『社会の自主学習』)に取り組み、今週の理解度を確認しよう。
(2~3回繰り返し、悩まずに正解できるまで解こう。)
- [その他] … テレビや新聞のニュースにふれ、今、世の中で何が起きているのかに関心をもとう。

学期	学習内容(单元・領域)	学習のポイント(ねらい)
一 学 期	【歴史】(教科書 P112 ~ P147) 第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第3章 武家政権の展開と世界の動き 第3節 武士による全国支配の完成 第4節 天下太平の世の中 第5節 社会の変化と幕府の対策	【歴史】 ◇江戸幕府による大名統制の理解を基に、中世から近世へと社会が転換したことをつかむ。 ◇農村(百姓)が幕藩体制(武士)を経済的に支えていたことに気付き、諸産業や交通の発達を背景を理解する。 ◇都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されていったことを理解する。 ◇財政悪化による幕府の政治改革と、貨幣経済の浸透による農村の変化について理解する。
	【地理】(教科書 P154 ~ P169) 第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 6 日本の人口~	【地理】 ◇日本の人口、産業の特色を理解し、どのように変化し、どのような課題を抱えているのかを考察する。
	【歴史】(教科書 P148 ~ P189) 第4章 近代国家の歩みと国際社会 第1節 欧米諸国における「近代化」 第2節 開国と幕府の終わり 第3節 明治政府による「近代化」の始まり 第4節 近代国家の歩み	【歴史】 ◇人権思想の広がりによる市民革命を経て、近代民主政治が確立していったことを理解する。 ◇産業革命による資本主義社会の成立とその後の諸問題について理解し、欧米諸国のアジア進出の背景を考察する。 ◇明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
二 学 期	【地理】(教科書 P170 ~ P295) 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 第2節 中国・四国地方 第3節 近畿地方 第4節 中部地方 第5節 関東地方 第6節 東北地方 第7節 北海道地方 第4部 地域の在り方 第1章 地域の在り方	【地理】 ◇日本の各地方の地域的特色を、地形や気候などの自然環境を基に理解し、そこで暮らす人々の生活や産業が成立する背景やその変化について考察する。 ◇地域の実態や課題解決の取り組みについて理解し、地域の発展や「持続可能な社会」を目指すための地域の在り方を考察する。
	【歴史】(教科書 P190 ~ P209) 第5節 帝国主義と日本 第6節 アジアの強国の光と影	【歴史】 ◇日清・日露戦争に至るまでの日本の動きと戦争のあらましを、世界の帝国主義の動きと関連付けながら理解、考察する。

《評価の観点》

- ・日本の各地方や近世、近代における日本の特色を理解し、諸資料を効果的に活用してまとめることができる。
- ・社会的事象に関して多面的・多角的に理解・考察し、諸課題に対して思考・判断したことを説明したり、それらを基に意見を表明したりすることができる。
- ・未来の社会の担い手として、社会的課題の解決を主体的に追求・探求し、よりよい社会の実現を目指して学習に取り組もうとしている。

《評価の方法》

- ・定期考査(観点別に問題を作成)や『確認テスト』の結果、ワーク(『社会の自主学習』)の取組、授業中の発言や授業への取組、プリントや課題の提出状況等を総合的に評価する。

第2学年 教科【数学】

<p>○ 学習目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し,数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 ・数学を活用して事象を論理的に考察し,簡潔・的確に表現する力を養う。 		
<p>○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント</p> <p>[学校]・先生や友人からの問いを大切にし,自分の考えを更に深めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が思いつかなかったことや大切だと思ったことはノートに丁寧にまとめること。 <p>[家庭]・その日に習った内容は教科書の問題や問題集を利用して,その日のうちに練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査前には,教科書の問題や問題集を復習でもう一度解く。(最低2度やる) 		
月	学習すること	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4 5	【1学期】 1.文字式を使って説明しよう [式の計算]	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中に数量の関係を見出し,それを文字を用いて式に表し,活用することができるようにするとともに,文字を用いた式の四則の計算ができるようにする。 ・整式の加法・減法,単項式の乗法,除法の計算ができるようにする。 ・文字式を利用することができるようにする。 ・目的に応じて式を変形することができるようにする。
	2.方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式について理解し,それを用いることができるようにする。 ・連立方程式とその解の意味を理解できるようにする。 ・連立方程式を解くことができるようにする。 ・連立方程式を利用して問題を解決することができるようにする。
	3.関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的事象の中から2つの数量を取り出し,それらの変化や対応を調べることを通して,1次関数について理解できるようにするとともに,関数関係を見出し,表現し,考察することができるようにする。 ・事象の中から1次関数を見出し,表現できるようにする。 ・表,式,グラフを用いて,1次関数の特徴を調べられるようにする。 ・具体的な事象の考察のために,1次関数を活用できるようにする。 ・2元1次方程式が関数を表す式である,と見られるようにする。
7 8 9	4.図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	<ul style="list-style-type: none"> ・観察,操作や実験を通して,基本的な平面図形の性質を見出し,平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして,それらを確認することができるようにする。 ・平行線や角の性質に基づいて図形の性質を調べることができるようにする。 ・多角形の角についての性質を見出すことができるようにする。 ・証明の意義と方法を理解できるようにする。 ・図形の合同の意味を理解し,三角形の合同条件を見出し,それを活用することができるようにする。
10 11 12	5.図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ,論理的に考察することができるようにする。 ・三角形や平行四辺形の性質を見出し,確かめることができるようにする。
1 2	6.起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象についての観察や実験を通して,確率について理解できるようにする。 ・起こりうる場合を順序よく整理することができるようにする。 ・確率の意味を理解し,簡単な確率を求めることができるようにする。
	7.データを比較して判断しよう [データの比較]	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し,データを整理して箱ひげ図に表す。また,箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解できるようにする。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り,批判的に考察し判断することができるようにする。
3	8.数学の自由研究	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた数学的な考え方をを用いて,様々な問題に取り組み,考察できるようにする。
<p>《評価の観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力や的確に表現する力などを身に付けている。 ・数学的活動の楽しさやよさを実感し,数学を生活や学習に生かそうとしている。 <p>《評価の方法》 授業中の学習活動,定期考査,単元テスト,提出課題の内容と提出状況</p>		

第2学年 教科【理科】

<p>○学習目標・自然についての理解を深め、自然を調べるための基本的な技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を通して、科学的に探究する力を付ける。 ・自然を科学的に探求しようとする態度を身に付ける。 		
<p>○学習の進め方と学習内容・学習のポイント</p> <p>[学校]・思考力,判断力,表現力は授業で育ちます。(仮説を立てる・検証方法を考える・結果を分析する など)</p> <p>[家庭]・ワークを計3回はやりましょう(習った日,週末,テスト前)。</p>		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	<p>1. 化学変化と原子・分子</p> <p>1章 物質のなり立ち</p> <p>2章 物質どうしの化学変化</p> <p>3章 酸素がかかわる化学変化</p> <p>4章 化学変化と物質の質量</p> <p>5章 化学変化とその利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分解の実験を行い,分解して生成した物質からもとの物質が推定できることを知り,物質は原子や分子からできていることを学習する。 ・原子は記号で表せることを学習する。 ・2種類の物質を化合させる実験を行い,反応前と異なる物質が生成することを知るとともに,化学変化は原子や分子のモデル説明できること,化合物の組成は化学式で表せること,および化学反応は化学反応式で表せることを学習する。 ・化学反応の前後では,物質の質量の総和が等しいこと,及び,反応する物質の質量の間には,一定の関係があることを学習する。
5		
6		
7		
9		
10	<p>2. 動物の生活と生物の変遷</p> <p>1章 生物と細胞</p> <p>2章 植物のからだのつくりと はたらき</p> <p>3章 動物のからだのつくりと はたらき</p> <p>4章 刺激と反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の組織と動物の組織を比較し,細胞のつくりのちがいとの関係について学習する。 ・植物が行う,光合成,呼吸,蒸散,吸水というはたらきを,葉,茎,根と関連付けて学習する。 ・消化や吸収・血液循環についての実験や観察を行い,動物の体には,必要な物質取り入れて運搬し,不要な物質を排出するしくみがあることを学習する。 ・刺激を受け取ってから,反応が起こるまでのしくみや,実際に体を動かすしくみを学習する。
11	<p>4. 天気とその変化</p> <p>1章 気象の観測</p> <p>2章 雲のでき方と前線</p> <p>3章 大気の動きと日本の天気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象衛星からの雲画像や天気図などから,気象情報を読み取ったり,身近な気象の観察・観測を行ったりして,観察方法や記録の仕方などを知り,気温や湿度,気圧などの規則性や,関連性を学習する。 ・空気中の水蒸気が水に変化する実験を行い,霧や雲のでき方や,雨や雪が降るしくみについて,気圧と気温,および湿度と関連づけて学習する。 ・前線の通過にともなう,天気の変化の観測結果などから,その変化を,暖気や寒気と関連付けて学習する。 ・自然の恵みと災害について学習する。
12	<p>3. 電気の世界</p> <p>1章 静電気と電流</p> <p>2章 電流の性質</p> <p>3章 電流と磁界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線の利用について学習する。 ・異なる物質どうしをこすり合わせると静電気が起こり,帯電した物体間では,空間を隔てて力が働くこと,および,静電気と電流は,関係があることを学習する。 ・電流回路をつくり,電流計や電圧計,電源装置などの使い方を知り,回路の電流や電圧を測定する実験を行い,各点に流れる電流や,各部の電圧に規則性があることを学習する。 ・抵抗の違いによって,発生する熱や光などの量に違いがあることを学習する。 ・磁界を磁力線で表すことや,コイルのまわりに磁界ができることを知り,磁界中のコイルに電流を流すと力がはたらくこと,およびコイルや磁石を動かすことによって電流が得られることを学習する。
1		
2		
3		
<p>《評価の観点》・自然について理解し,観察・実験の操作や記録などの技能を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし,観察・実験などを行い,その結果を分析して表現できる。 ・自然に進んで関り,科学的に探求しようとしている。 <p>《評価の方法》・実験レポート,授業の活動の様子,ノート,定期テスト,小テスト,ワークなど</p>		

○ 学習目標・身近な話題について、問答をするなどをして会話を続ける。 ・語と語や文と文のつながりなどに注意しながら、さまざまな主題について意見やその理由も含めて4文以上で書く。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校]・学習した英語を活用し、意欲的に授業に参加しよう。 ・話をしっかり聞いて、学習内容をきちんと理解し、家庭学習につなげよう。 [家庭]・復習:学習したところの音読, 単語練習, ワークなどに取り組もう。 ・テストなどでできなかったところを、できるようになるまで解き直しをしよう。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 A Trip to Singapore Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	・休暇や週末の予定について、尋ねたり伝えたりする。 ・場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりする。
5	Let's Listen 1 機内放送 Unit 2 Food Travels around the World Let's Talk2 ていねいなお願い	・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書く。 ・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりする。
	Let's Listen 2 インタビュー Unit 3 My Future Job Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信	・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取る。 ・自分が体験したことや学んだことなどについて、尋ねたり伝えたりする。 ・留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書く。
7	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future Let's Read 1 History of Clocks	・好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書く。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりする。
	Let's Listen 3 天気予報 Unit 4 Homestay in the United States	・天気予報を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・習慣やマナーについて、尋ねたり伝えたりする。
10	Let's Write 2 ホームステイのお礼状 Let's Listen 4 電車の運行情報 Unit 5 Universal Design	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝える。 ・運行情報を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりする。
11	Let's Talk 3 電車の乗りかえ Let's Listen 5 留守番電話 Unit 6 Research Your Topic Let's Talk 4 買い物	・身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりする。 ・留守番電話を聞き、主な内容を理解する。 ・身近なことについて、特徴を比較しながら説明する。 ・自分の好みや要望を伝えながら買い物をする。
	12	Stage Activity 2 Research and Presentation Let's Read 2 A Glass of Milk
1	Let's Listen 6 商品のコマーシャル Unit 7 World Heritage Sites	・商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取る。 ・各地の世界遺産を紹介する。
2	Let's Talk 5 電話でのやり取り Let's Listen 7 店内のアナウンス Stage Activity 3	・自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝える。 ・店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取る。 ・自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝える。
	3	My Favorite Place in Our Town Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet
<p>《評価の観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解し, 実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 ・日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 ・文化に対する理解を深め, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 <p>《評価の方法》 定期テスト, パフォーマンステスト, 課題の取組, 授業中の観察など</p>		

第2学年 教科【音楽】

<p>○ 学習目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を体験することを通して、音楽への興味・関心を養い、音楽を愛好する心情を育てる。 ・音楽に対する感性を豊かにし、表現する力と広く親しんでいこうとする態度を身に付ける。 		
<p>○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント</p> <p>【学校】・授業を大切にし、曲の表情に自分の思いを乗せて表現できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽のもつ豊かな表現を感じ、しっかりとまとめられるようにする。 		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	<p>【1学期】</p> <p>オリエンテーション</p> <p>総合芸術としてのオペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう。(鑑賞)オペラ「アイダ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の1年間の授業について説明を聞く。 ・あらすじや背景となる文化、歴史を知りさまざまな芸術との関連を理解する。 ・オペラの音楽の特徴を声の音色、歌い方、旋律などを通して感じ取る。
5	<p>パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう。(歌唱)合唱祭課題曲及び自由曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
6	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう。(鑑賞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1楽章の第1主題第2主題に注目し、曲想の違いを捉える。
7	<p>「交響曲第5番ハ短調」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動機の現れ方に着目し、曲の特徴を捉える。
8	<p>世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。(鑑賞)「ジンジュ(京劇)」「ヨーデル」「ケチャ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地のさまざまな音楽の特徴を、声の音色や旋律、速度などを通して感じ取る。
9		
10	<p>【2学期】</p> <p>曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう。(歌唱)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア語で歌詞唱する。 ・歌詞の内容、旋律の動きや強弱との結びつきを意識しながら、曲想表現する。
11	<p>「サンタルチア」「夏の思い出」</p>	
12	<p>総合芸術としての歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう。(鑑賞)歌舞伎「勧進帳」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじや背景となる文化、歴史を知りさまざまな芸術との関連を理解する。 ・歌舞伎の音楽の特徴を声の音色、歌い方、旋律などを通して感じ取る。
1	<p>日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。(器楽)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法を身に付ける。
2	<p>「荒城の月」</p> <p>音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう。(創作)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて考える。 ・創意工夫を生かした表現で、音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。
3	<p>「Let's Create!」</p> <p>卒業式在校生合唱曲「My Own Road」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を味わい、曲全体の曲想を感じ取りながら、音楽表現を工夫しながら歌う。
<p>《評価の観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 ・音楽を形づくっている要素やそれらが生み出す特質や雰囲気について感じ取り、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって演奏したり、聴いたりしている。 ・音や音楽、音楽文化に親しみ、音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組んでいる。 <p>《評価の方法》・授業の様子 ・音楽活動での協力の仕方とまとめ方 ・提出物の提出状況や内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技発表会(授業、行事等)での演奏・鑑賞での感想、まとめ方 		

第2学年 教科【美術】

○ 学習目標 ・美術を愛好し、主体的に表現の工夫や作品の見方・感じ方を深めて学習活動に取り組む。 ・自然や美術作品の造形的なよさや美しさを感じとり、自分の表現方法を工夫する。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校] ・自ら学ぶ意欲をもち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。 ・発想力や創造的な技能を高めるよう授業に集中し、丁寧に制作に取り組むこと。 [家庭] ・生活の中に生かされている美術に興味、関心を持ち、想像力、構成力を高める。 ・ポスターの制作など、家庭での課題に積極的かつ丁寧に取り組む。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 オリエンテーション 「学びの実感と広がり」	・作品の多彩な表現や作者の言葉から、そこに込められた思いを感じ取り、表現することについて考えを深める。
5	デザイン・絵 「その一枚が人を動かす」	・伝えたい情報やイメージ、伝える場面を基に主題を生み出し、文字の形や色彩、構成、伝達するイメージ、伝達効果などを考え表現する。
6	鑑賞	・デザイン用具の特性を生かし、創意工夫して表す。
7		・表現に込められた作者の意図や作品のよさを味わう。
8	デザイン・絵 ◎夏休み課題(文化学習発表会ポスター・コンクール作品公募への希望出品)	・文化学習発表会のポスター制作をし、作品発表展示をする。
9		
10	【2学期】 デザイン・工芸	・生活の中で使っているもののよさや美しさに関心を持ち、人間の暮らしと工芸の関わりについて学ぶ。
11	「作って味わう工芸」 ～材料の特性を生かして～	・生活の中で使う場面を想像したり材料の特性を考えたりしながら、美しさや使いやすさを工夫して発想や構想をする。
12	鑑賞	・墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて創造的に絵で表す。
1		・生活の中で使い、作品のよさを味わう。
2	鑑賞	・浮世絵のよさや特性に関心を持ち、見方・感じ方を深める。
3	「浮世絵はすごい」 「北斎の大波」 「絵巻物の世界」 「日本の美術と世界の美術の歩み」	・日本の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、日本の美術文化の継承と創造について考える。 ・作品の意図や工夫について探求し、作者の意図や感じ取ったことについて話し合う。
<p>《評価の観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <p>《評価の方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動のへの取り組みの様子、作品制作の内容、発言の内容、制作カード・ワークシートの記述・内容 		

第2学年 教科【保健体育】

<p>○ 学習目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全に留意しながら運動に取り組む。 ・自分またはグループの力に応じた課題を設定し、課題解決に向けて互いに助言しながら活動する。 		
<p>○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント</p> <p>[学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の安全に十分留意し、積極的に活動しよう。 ・授業での説明や注意事項をしっかりと聞き、正しい運動技能や知識を身につけよう。 <p>[家庭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上に努めよう。(運動する習慣, 規則正しい生活) ・教科書, 学習ノートを利用し, 予習・復習をしよう。 		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に関心を持ち, 体の調子を整えたり, 体力を高めたりする運動を行う。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の記録への挑戦や, 仲間との競争を楽しむ。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・保健分野(傷害の防止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人技能を生かしたゲームを行う。 ・審判法を理解する。 ・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全について理解を深める。
7		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ※9月中旬までは天候等により, 保健と並行して行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の能力に適した課題を設定し活動する。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ・保健分野(傷害の防止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や事故による傷害の要因や防止策について, 理解を深める。 ・正しい応急手当の知識と技能を身に付ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(短距離・長距離・ハードル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人技能を身に付け, ルールを理解する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・スポレク練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人技能を身につけ, ルールを理解すると共に確実に試合を行えるようにする。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・球技(ゴール型) バスケットボールまたはサッカー 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動(マット, 跳び箱) 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法や相手を尊重する態度を重視するとともに, 基本的な技や相手の動きに対応した技を身に付ける。 ・自分たちで設定したテーマに対してイメージを出し合い, イメージにふさわしい動きやリズムなどを工夫して作品を作る。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保健分野(健康な生活と病気の予防) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣と病気について正しい知識を身に付け, 健康な生活や体づくりについて理解を深める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・球技(ベースボール型) 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な個人技能と集団技能との関連性を理解し, チーム内で課題を設定し活動する。
<p>《評価の観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全について理解し, 運動の特性に応じた, 基本的な技能を身に付けている。 ・課題を見つけ, 取組や解決の仕方を工夫し, それらを他者に伝えている。 ・運動の楽しさや喜びを味わえる実践と, 自他の健康についての学習に, 自主的に取り組もうとしている。 <p>《評価の方法》</p> <p>授業態度(授業への取組), 実技テスト, 定期テスト, 学習カード など</p>		

第2学年【技術】

○学習目標〔題材：エネルギー変換に関する技術・情報に関する技術〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・製作を通して、電気特性、電気製品のしくみ理解することができる。 ・適切に工具を使い、安全に注意して作品を仕上げることができる。 ・ものづくりの技術を生活にいかす態度を身に付ける。 		
○学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
〔学校〕・話をしっかり聞き、よく理解し、自分の学習に活かしていこう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターをルールを守り正しく活用し、使用後の後片付けもきちんと行おう。 		
〔家庭〕・予習：教科書を前もって読んでおこう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・復習：学習したことを振り返り、身の回りのものに目を向けていこう。 		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
【1学期】		
4	『わたしたちの生活とエネルギー変換』	<ul style="list-style-type: none"> ・身の周りにおけるエネルギーについて知り、持続可能な社会には再生可能エネルギーが必要であると理解する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの利用 ・エネルギーの変換と効率 	
6	『電気エネルギーの利用』	<ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの発電方法や電気の種類について理解する。 ・動力を効率よく伝えるしくみや目的に合わせて変化させるしくみについて知る。 ・電気機器の構成と回路図を用いた表し方を理解する。
7	『動力の利用』	
8	『製作』	
9	『エネルギー変換に関する技術のまとめ』	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換を利用した製作品を作ることで、身の周りのものがどのように動いているかどう扱うかを理解する。 ・エネルギー問題について考える。
【2学期】		
10	『情報とわたしたちの生活』	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターでどんなことができるか調べる。 ・ネットワーク上でどのようなしくみで情報を伝えているのかを知る。 ・情報を処理するしくみについて知る。
11	『情報通信ネットワークと情報処理』	
1	『情報セキュリティと情報モラル』	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを使う上で、危険性やセキュリティ、モラルや情報に関するルールについて知る。 ・エクセルや画像処理ソフトの使い方を知り、作成することで情報を正確にわかりやすく伝えることができるようになる。
2	『デジタル作品の設計と制作』	
3	『わたしたちの生活と生物育成』	<ul style="list-style-type: none"> ・普段食べているものや着ているやエネルギーに関して生物育成の役割を知る。 ・生物の育成に適する条件と育成環境を管理する方法について、知識を身に付ける。
	『作物の栽培』	
《評価の観点》		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に積極的に取り組み、生活と身の回りの技術の関わりを理解しようとしている。 ・工具の正しい使い方や各部の名称を理解している。 ・エネルギー変換や情報の技術の仕組みについて理解し、それらの課題を見つけ解決策を構想し表現することができる。 		
《評価の方法》		
作品、観察(製作の様子)、定期テスト、レポート、プリントなど		

第2学年【家庭】

○学習目標【題材 衣食住の生活】
自分たちの食生活を見直し、食生活を豊かにする知識と技術を身に付ける。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント
 [学校]
 ・授業を聞いて、ノートをまとめよう。
 ・生活を振り返る場面では、家庭でのことを思い出したり、自分の考えを言葉にしよう。
 ・周囲の意見と比較し、視野を広げよう。
 ・調理器具を正しく安全に使い、周囲と協力して活動しよう。
 [家庭]
 ・学習したことを活用し、課題に取り組もう。
 ・テスト前は、授業で学習したことを中心に復習しよう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
【1学期】		
4	B食-1 食事の役割と食習慣	・食事の役割を知り、自分の食生活を振り返る。 ・健康によい食習慣について学ぶ。
5	B食-2 中学生に必要な栄養を満たす食事	・中学生に必要な栄養の特徴から自分の食生活を振り返る。 ・栄養素の種類とはたらきについてまとめる。
6		
7	③栄養バランスを目で見えて判断 小テスト <u>夏休みの課題:</u>	・栄養バランスがいい1回の食事の見分け方を考える。
	B食-3 さまざまな食品とその選択	・食品の特徴と選択・保存方法をまとめる。
【2学期】		
10	B食-4 日常食の調理	・調理の手順や流れを確認する。 ・「おいしさ」について考える。 ・食材や調理器具の扱い方を理解する。 ・焼く・煮る・蒸すの調理を行う。
11	肉、魚、野菜を使った日常食の調理	
12	B食-5 地域の食文化 小テスト <u>冬休みの課題:</u>	・地域の食材や郷土料理について調べる。 ・年中行事と行事食の関係について学ぶ。
1		
2	B食-6 献立づくり	・栄養バランスのいい献立を作るための方法を考え、意見交換をする。
3	B食-7 持続可能な食生活	・食糧自給率について考える。

《評価の観点》
 ・生活に生かすことができる基本的な知識・技能を身に付けている。
 ・家庭生活の中で課題を見つけ、解決策を考え実践、評価するなどして、自分の考えを表現できる。
 ・主体的に生活を工夫しようと考え、実践しようとしている。

《評価の方法》
 作品、ワーク、学習の足跡、定期テスト、取り組みの様子 など

第2学年 教科【道徳】

【学習目標】		
1 中堅学年として自主的自律的に行動するとともに、個性を伸ばして充実した生き方を求めるようにする。		
2 他の人々に対して敬愛の念を深め、思いやりの心をもって生活するようにする。		
3 相手の個性や立場を尊重するとともに、男女は協力して互いに高め合うようにする。		
4 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重するとともに自然との関わりを深めるようにする。		
5 勤労の尊さについて理解するとともに、社会への奉仕と公共の福祉のために尽くすようにする。		
6 国際社会の一員としての自覚を深め、世界の平和と人類の幸福に役立つ人になるようにする。		
月	教材名	学習のポイント(ねらい)
4	1 あいさつ	あいさつや礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動を取ろうとする態度を育てる。
	2 住みよい社会に	誰もが安心して生活できるよりよい社会の実現に努める心情と態度を育てる。
	3 遠足で学んだこと	互いの異なる個性や立場を尊重し、寛容な心で相手の生き方に謙虚に学ぼうとする態度を育てる。
5	4-1 私のせいじゃない	泣いている子と周りの子たちの気持ちを考え、差別のない社会を創ろうとする心情を育てる。
	4-2 あの子のランドセル	過去の自分の行動に心を痛める主人公の気持ちを考えることを通して、自分の良心に従って行動することの大切さに気づき、自ら責任を持って行動しようとする態度を育てる。
	4-3 「いじめ」について、あなたはと思う？	いじめの事例と筆者の訴えを通して、他者を尊重し、差別や偏見のない社会で共により良く生きようとする心情を育てる。
6	5 みんなでとんだ!	本当の意味で団結するには何が大切かを、多様な視点で悩む2年1組の姿に共感することを通して互いを理解し、励まし合って、友情を深めようとする意欲を育てる。
	6 私は十四歳	自己を見つめ、自分の良さを生かして充実した生き方をしようとする道徳的実践意欲を育てる。
	7 ごめんね、おばあちゃん	祖母に対する主人公の心情の変化について考え、父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としてより充実した家庭生活を築こうとする意欲を育てる。
	8 心でいただく伝統の味	日本の伝統や文化のすばらしさに気づき、日本を愛しよりよくしようとする実践意欲を育てる。
7	9 愛	人間尊重の精神を理解し、共に助け合い、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。
	10 祭りの夜	地域の文化や伝統の良さに気づき、郷土に主体的に関わり、その発展に努めようとする心情を養う。
8	11-1 奇跡の一週間	限りある生命を輝かせて生きていこうとする心情を育てる。
9	11-2 妹に	かけがえのない生命を大切にしていこうとする心情を育てる。
	11-3 三つの命	いのちの「有限性・連続性・偶然性」について考え、生命を大切にしていこうとする態度を育てる。
	12 宝塚方面行き—西宮北口駅	電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、公共の場での適切な言動を考え、公德心を持って行動しようとする態度を育てる。
10	13-1 白ご飯を目指して—萩野公介	気持ちを整えることによる心の変容を通して、心身の健康・安全へ向けた心情を育てる
	13-2 不安な気持ちを整えてみよう	お互いの伝え合い、聞き合いを通して、不安な気持ちに向き合う態度を育てる。
	14 ゴール	友達同士励まし合い、友情を深めようとする心情を養う。
	15 四十七年に感謝を込めて	校舎を愛する気持ちから、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。
11	16 「注文をまちがえる料理店」	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に他に学び、自らを高めていく態度を育てる。
	17 六千人の命のピザ	国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする心情を育てる。
	18 冬の使者「マガン」	マガンの調査をする主人公たちの活動を通して、自然と人間との関わりについて考え、自ら進んで自然環境の保全に努めようとする態度を育てる。
12	19 今度は私の番だ	佐藤真海さんの生き方を通して、社会参画や社会連帯の意義を理解し、社会参画に対する意欲を育てる。
	20 渡良瀬川の鉱毒	足尾銅山鉱毒反対運動に一生をささげた田中正造の生き方を通して、社会正義を重んじ公平で公正な社会の実現に努めようとする心情を育てる。
	21 夜は人間以外のものの時間	「夜は人間以外のものの時間」について作者が考えたことを通して、人間と自然との関わりについて多面的・多角的に捉え、人間の力を超えたものに対する畏れや敬いの心情を育てる。
1	22-1 自分を信じて生きるとは……	人間の心の中には弱さ・醜さもあるが、それを乗り越えようとする強さ・気高さを持っていることを理解する。
	22-2 本当の私	悩みながらも自分の弱さ・醜さを克服したエイミーの姿を通して、人間としての誇りを持って気高く生きていこうとする意欲を育てる。
	23-1 我、ここに生きる	霧多布にとどまって診察を続ける決心をした道下医師の生き方に共感することを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てる。
2	23-2 「十年後の自分」から「現在の自分」にメッセージを伝えよう	「真の働き方」についてグループで話し合うことで、勤労に対する考えを深め、社会の中でよりよく生きる態度を育てる。
	24 左手でつかんだ音楽	息子から贈られた楽譜をきっかけに、再起を果たすまでの館野さんの気持ちの変容を考えることを通して、希望と勇気を持って夢や理想を実現していこうとする意欲を育てる。
	25 書道パフォーマンスの挑戦	石原先生や書道部員たちが取り組んでいる「書道パフォーマンス」を通して、伝統を継承しつつ、更に発展させていくことの大切さを理解し、伝統を継承していこうとする態度を育てる。
	26 赤土の中の真実	真実を見極めようと、精励し続けた相沢さんの生き方を通して、真実や真理を求め、探究し続けようとする意欲を育てる。
3	27 心に寄りそう	「心に寄りそうことの大切さ」を学んだ山田さんの姿に共感することを通して、相手の立場や気持ちを尊重し、誰に対しても思いやりの心を大切に接しようとする態度を育てる。
	28 「いいね」のために?	私利私欲を交えず、真心をこめて具体的な行為を行う主人公の姿に共感することを通して、自らの意志や判断で行動し、その結果に責任を持つようとする心情を育てる。